

金沢大学 能登里山里海未来創造センター（文化資源学分野・人文学） 教員公募

1. 公募人員：特任助教または特任准教授 1名
2. 所 属：能登里山里海未来創造センター <https://notomirai.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
3. 勤務地等：金沢大学角間キャンパス（金沢市角間町）
4. 専門分野：文化資源学（文化遺産学・文化財科学・博物館学を含む）
5. 職務内容：本学能登里山里海未来創造センター「まち・なりわいづくり部門」では、能登の復興と再生を起点とした新たな社会モデルを構築するための研究を進めて参ります。そして、能登から生まれる「震災を起点として人口減少を乗り越える地域の産業とまちづくりの発展」を体系的な学問領域に昇華させ、日本と世界に共通する社会課題を乗り越える知の創出を目指します。採用された方には本学の一員として、様々な文化財の保存・復旧・活用の研究を通して、被災地に寄り添って、その復興に伴走していただきます。また本学古代文明・文化資源学研究所(<https://isac.w3.kanazawa-u.ac.jp/>)と連携した研究にも参加していただきます。合わせて、本学人間社会学域人文学類および大学院人間社会環境研究科の専門教育の一部を分担（講義担当、研究指導）^(注1) いただきます。
(注1：準専任として学類会議、研究科専攻会議への出席とその他の大学運営に関わる業務、授業外の学生指導（オフィスアワーを含む）や授業改善に関わる活動を含みます)
6. 教育担当：人間社会学域 人文学類
大学院人間社会環境研究科人文学専攻
防災・復興人材特別プログラム <https://note.w3.kanazawa-u.ac.jp/contents/4366>
7. 担当科目：人間社会学域人文学類及び大学院人間社会環境研究科人文学専攻の主に文化資源学に関わる専門科目（講義、演習、実習等）の担当や研究指導を行っていただきます。また、博物館学芸員課程専門科目の一部をご担当いただきます。専門科目では、英語による講義を担当いただく場合があります。あわせて、防災・復興人材特別プログラムに含まれる科目の講義、演習を担当いただく場合があります。
8. 応募資格：以下の条件を全て満たすことが必要です。
 - (1) 博士の学位を有すること（特任助教に関しては、博士の学位を取得見込みの者も含む）。
 - (2) 教育、研究、地域防災・復興支援に強い熱意を有すること。
 - (3) 本学着任後、幅広い視野に立って教育、研究を行う能力を有すること。また、人文学系及

び古代文明・文化資源学研究所の教員と連携して、教育・研究活動を行える能力と意欲を有すること。

- (4) 日本語で授業、学生指導その他の業務ができること。
- (5) 採用後、金沢市又はその近郊に居住できること。

9. 着任時期：2026年4月1日以降のできるだけ早い時期

10. 勤務形態：任期付常勤（専門業務型裁量労働制）

※任期 原則5年（年度ごとに雇用更新、最長で年度末年齢65歳まで）

ただし、予算状況を踏まえて、所定の時期に、研究及び教育実績に関する学内審査を行った上で、当初雇用開始日から10年を超えない範囲で雇用更新を行う場合があります。

※引き続いた本学在職歴を有する者については、当該期間を通算して10年を超えない範囲内での任期となります。

11. 給与：国立大学法人金沢大学特任教員の就業に関する規則に基づき支給されます。

※金沢大学就業規則

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

12. 応募書類：

(1) 履歴書※

写真を貼付し、大学卒業以後の学歴・職歴を記すこと、連絡先として少なくとも電子メールアドレスを記すこと。

(2) 業績一覧、教育実績、外部資金の獲得状況（科学研究費の種別、代表・分担を明記）、社会貢献（能登半島における活動実績がある場合は、その内容を明記）を含む。論文については査読の有無を記すこと）※

(3) 研究業績のうち主要なもの5点（別刷、または複写）

(4) 研究業績のうち、各論文、研究発表等の要旨（おおむね200字から400字程度。該当論文等の雑誌・予稿集等掲載時の要旨を転用して構わない。著書については要旨不要）

(5) 今後の研究計画、本学に着任した場合の教育の抱負（1,000字程度）

(6) 応募者に関して意見照会可能な方1名の氏名・所属・本人の連絡先（電話番号、電子メールアドレスを含むこと）

※履歴書及び業績一覧等は本学指定の様式を使用願います。様式は以下のページからダウンロード可能です。

<https://hss.w3.kanazawa-u.ac.jp/information/koubo/>

13. 選考方法：書類選考の上、候補者の面接を行います。面接の旅費等は自己負担となります。書類選考及び面接結果については、本人に直接通知します。応募書類は返却しません。応募に

関する個人情報、本件の選考以外の目的には一切使用しません。

14. 応募締切：2026年1月30日（金）必着

15. 書類提出：応募書類は JREC-IN Portal Web 応募又は郵送にて受け付けます。

【JREC-IN Portal Web 応募の場合】

書類を全て PDF 化し、1 つの ZIP ファイルにまとめて JREC-IN Portal から Web 応募にて提出してください。

【郵送の場合】

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学能登里山里海未来創造センター 事務局 長田宛

※「特任教員（文化資源学分野）公募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。

※応募書類(1)(2)(4)(5)(6)は電子化データ（PDF）を収めた媒体（USB メモリ等）を同封してください。

※応募書類は原則として返却しません。特に返却を希望される場合は、必要額の切手を貼付した返信用封筒（宅配便の場合は着払いの送り状）を同封願います。

※応募書類は選考終了後に廃棄します。

16. 問い合わせ先：〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学 能登里山里海未来創造センター事務局 長田（ながた）

E-mail: notomirai@adm.kanazawa-u.ac.jp

17. その他：

(1) 就業規則に関する規程については、下記の URL をご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

(2) 金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでおります。下記の URL をご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/sgu/kusgu/project.html>

(3) 金沢大学ではダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。

詳細は下記 URL をご覧ください。

<http://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

(4) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、能登里山里海未来創造センターでは女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(5) 適任者がいない場合、採用を見送ることがあります。

以上